

踏み跡 <My Mountains>

赤城山	大洞から黒檜山・駒ヶ岳・地藏岳	No.288
-----	-----------------	--------

館林のT君が主宰する寄席「たたら亭」の後一泊して翌日は上州の山歩きでも・・・という趣向。昨年9月の鳴神山に引き続き二回目になる。今回は登り残した大物「赤城山」。

平成10年5月17日

館林グランドホテルで朝風呂のあとすっきりして7時半に出発。霧雨ではあるが、気にすることも無いような降り方。前回同様に館林駅前のコンビニエンスストアで朝食と昼食を調達して、車中で朝食。食べ終わる頃には霧雨も殆ど気にならない程度にまで上がってきた。国道50号線に出て大胡へ、そして県道大胡赤城線で赤城山へ。赤城山が近づくにつれて雲が上がって山の姿が現れてきた。天候面での心配はなさそうでひと安心。



海拔1350m、大沼湖畔の大洞に9時半に到着。晴れて暑くなってきたことで食糧の買い忘れ一品(缶ビール)に気が付いた。近くのお店に飛び込んで調達し、10時に出発。

しばらく湖畔を北に向かって歩くと黒檜山の登山口。地図を見ると湖畔の道路に海拔1352mの表示がある。東へ標高差470m余の一機の登りが始まった。満開のツツジの向こうに大沼の広がり、そしてそれが徐々に眼下になって行く。高度を上げて行くと南に小沼も見え、やがて赤城山という大きな山の全体が見えてくる。きつい登りではあるが、楽しみの多い登りでもある。鮮やかな青空の下、南側斜面の美しいクマザサの輝きの中にツツジの色が点々と美しい。

黒檜山(くろびさん 1828m) 11時20分。ここは赤城山の外輪山の一角。上州武尊と谷川岳が雲の切れ間から大きな顔を出してきた。恒例の昼食と昼寝に入ろうとしたが、中年の団体がうるさくて落ち着かないので頂上を外した熊笹の中に身を沈めた。(後日談: 黒檜山の山頂の写真が残っていない。撮らなかったか?) ゆったりと休憩をとって12時45分に出発。下山ルートは、駒ヶ岳経由で大沼に下るコースを選んだ。

駒ヶ岳まではさほど高くもない樹木の足元にクマザサが続く、気持ちの良い散歩道のような稜線。駒ヶ岳は1685m、榛名山方面は頭を雲の中に突っ込んだ状態で全貌ははっきりしない。しばらく景色を楽しんだ後大沼に下った。まだ時間があるのでもうひとつ、地藏岳にも登って見ることにした。地藏岳登山口14時13分。茶碗を伏せたような独立峰なので、登りは一本調子でかなり重たい。今度は大沼を南から眺めるので、少し形が違って見えて面白い。

地藏岳(1674m) 14時53分。赤城山の中央火口丘になり、一等三角点の山。頂上は広いし人もいないし景色も良い。武尊・谷川岳・榛名山・奥日光……。大沼を挟んでどっしりと座る黒檜山と駒ヶ岳は、さすが赤城の盟主と言いたくなるようなボリューム感がある。



(左: 地藏岳から黒檜山と駒ヶ岳 右: 地藏岳山頂)

大洞帰着は15時55分。トイレで汗を流して着替えた後、うどんを一杯食べて17時出発。自宅帰着は21時15分と比較的スムーズな帰路だった。

以上